

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院附属健康管理センター及び虎の門病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2018年7月1日 ～ 2024年3月31日の間に、虎の門病院消化器内科または健康管理センターに入院・通院し、大腸カプセル内視鏡検査、および胃の内視鏡検査を受けられた方

【研究課題名】

大腸カプセル内視鏡での胃の状態の評価

【研究の目的・背景】

《目的》

大腸カプセル内視鏡での胃の状態の評価がどこまで可能か検証する。

《研究に至る背景》

大腸カプセル内視鏡検査（CCE）は、通常の大腸内視鏡検査と比較し、検査に伴う苦痛が少なく鎮痛薬や鎮静薬の投与も不要であることから、大腸がん検診受診率向上、大腸がん早期発見率向上につながることを期待される。さらに、その実施中に食道、胃、十二指腸も撮影可能であり、この検査で胃の評価が可能となれば、CCEを受けたが上部消化管内視鏡検査未受診の方へ上部内視鏡受診の勧奨が適切にできれば、大変有意義であると考えます。

この、胃の所見の正確さを評価する。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2023年9月27日 ～ 2024年9月30日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院附属健康管理センター、及び虎の門病院 共同研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 健康管理センター 荒木昭博 のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院・虎の門病院分院の院外へ提供する場合】

非該当

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録、内視鏡画像データ、看護記録など

【研究責任者】

虎の門病院 ・ 健康管理センター ・ 荒木昭博
虎の門病院 ・ 消化器内科 ・ 松井 啓

【利用する者の範囲】

健康管理センター ・ 荒木昭博
消化器内科 ・ 松井 啓

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年6月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 健康管理センター ・ 荒木昭博
電話 03-3588-1111(代表)
虎の門病院 消化器内科 ・ 松井啓
電話 03-3588-1111(代表)